**3 クロス表と独立性の検定**

**問題１**

クロス表は120ページに、χ2値は121ページに、独立性の分布は122ページに記述してある。

**解答**　　②

**問題２**

独立性の検定は質的変数に対して、χ2検定を用いて実施する。

年齢、飲酒量、喫煙本数は量的変数である。

**解答**　　②、③

**問題３**

２×２のクロス表の自由度は、１である。

期待度数は、120ページに説明してある。

この場合の期待度数は、　27×38÷100　で求める。

**解答**　　③